

2021年 5月 31日

ボランティアグループ あめつち
代表：豊田有希
TEL：080-3986-2664

事業完了日：2021年 3月 31日

令和2年7月豪雨災害 REBORNプロジェクト実施報告

拝啓 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは、貴財団から貴重な助成をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで無事、水損ネガのレスキュー作業、及びその記録集の発行することができましたことをご報告いたします。

下記の通り、報告書、関連資料などを送付させていただきます。ご査収のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

- 1.報告書 1部
- 2.収支報告書 1部
- 3.活動・記録集掲載記事コピー 1部
- 4.写真展示記録風景・パンフレット 1部

以上

1.事業内容

ボランティアグループあめつちは、令和2年7月豪雨で水損した八代市坂本町に残る昭和20年代～の古い写真ネガをレスキューし、令和3年1月から3月にかけて、熊本県民を対象に、展示や記録集の発行を行う事業「令和2年7月豪雨REBORNプロジェクト」を実施した。その詳細は下記の通りである。

I. 水損ネガレスキュー活動

令和2年7月28日につなぎ美術館作業室、同29日と8月5日に熊本市現代美術館アートロフトにて、新型コロナウイルス対策を行いながら、のべ約30人のボランティアで、ネガの状態チェック・撮影、分類・優先度判定、リスト作成、クリーニング・保存・デジタル化方法の確認、クリーニング、乾燥を行った。作業内容は以下の通りである。

- ① 浸水した写真はそれぞれが固着した状態であり、全体像が不明であったため、まず、ネガ袋を開封し、それらの内容をリスト化して、外袋などにある情報を記録し、状態撮影を行った。
- ② ネガ袋の中に水が入り込み、乳剤が溶け出して、臭気を発していたため、換気に注意しながら、画像の残り具合について優先度判定（○△×の三段階）を行った。作業日数が限られていることから、○のグループから開封し、クリーニングして乾燥後、中性紙を挟んだ新しいスリーブに入れ替えた。
- ③ 記録と入れ替えが終了したネガ、写真をスキャンし、デジタルデータ化を行った。

※水損した資料は、6×6ネガフィルムが114本、35mmネガフィルム78本、6×4.5ネガがバラで2本分程度の計194本、紙資料が11枚あった。それらのネガフィルムのうち、画像が半分以上残っているもの（優先度判定○）が54本、一部残っているもの（優先度判定△）が28本、ほとんど残っていないもの（優先度判定×）が25本、中身が入っていなかったものや完全に流失したものが87本あった。

これ以外に、浸水を免れたネガやプリントの入ったコンテナボックスが1箱あり、そちらもあわせて、最終的に2167カットをデジタルデータ化した。

II. 「令和2年7月豪雨REBORNプロジェクト」展示

令和3年1月20日～4月4日にかけて、熊本市現代美術館ギャラリーⅢ内で、クリーニングした水損ネガをデジタル出力したプリントや、実際のネガ、資料等による展示を実施。

新聞報道などを見た、坂本町出身の方などが多数会場に足を運ばれ、懐かしい坂本町の風景などについて、多く語られていたほか、球磨川の豊かな恵みと、度重なる水害によるダム建設や高台移転など、その両面を見つめてきた坂本の暮らしについて、普段知ることの少ない熊本市民に向けて紹介することができた。

また、今後、八代市内のギャラリーでの展示、更に復興の状況を見て、坂本町のコミュニティセンター等でも展示を計画している。

Ⅲ. 写真集「REBORN」発行

水損ネガレスキュー作業を通じてデジタル化した2167カットから、約60カットを選び、AB判(210×257mm) 54ページの写真集として編集し、令和3年2月に発行した。内容は昭和20年代～平成にかけての八代市坂本町の写真のほか、コラム「山と川と坂本町」「球磨川ン水の出ンバ、ナガシャアガラン」「西日本製紙工場と荒瀬ダム」、水損ネガを保管していた「Reborn」リバーガイド溝口隼平氏による「10年、そしてこれから」、水損ネガクリーニング作業報告、英文対訳リーフレットからなる。これらは、販売は必要経費を引いた金額を坂本町の復興活動へ寄付し、坂本町民の方で希望される方は無料で配布していく予定である。

2.事業評価

1)事業目標の達成状況：

【契約時の目標】

- ・活動人数 15名 ・対象ネガ：地元アマチュアカメラマン3名分
- ・カラーフィルム：35mm・120、合計85本 ・モノクロフィルム：35mm・120、合計 約150本
- ・記録集作成

上記内容全てのネガのレスキュー活動完了と、記録集作成を目指す。

【目標の達成状況】

- ・活動人数 20名 ・対象ネガ：地元のアマチュアカメラマン3名分
- ・最終的に、6×6ネガフィルムが114本、35mmネガフィルム78本、6×4.5ネガがバラで2本分程度の計194本、紙資料が11枚の調査及びクリーニングを行った。それ以外に、水損を免れたコンテナボックス1箱分の写真をデジタル化し、トータルで、2167カットを保存した。
- ・記録集を発行。契約時の目標をすべて達成することができた。

2)事業実施によって得られた成果：

- ・レスキューした水損ネガの中には、昭和20年代の旧八代市坂本村のダム湖建設や、過去の水害の記録、村民たちの暮らしぶりを読み取ることができる歴史・民俗的な価値のある写真が多数あった。当時を知る人が限られる現在、これらの写真をきっかけにして、同村出身の方々の聞き取りを進めていきたい。
- ・展示や記録集については、坂本町の方が熊本市内まで多数見を訪れて下さったほか、町出身で県外在住者からも問い合わせがあり、水害からの復興を続ける同町の皆さんの心のよりどころが出来たと同時に、熊本市など、被災地から距離のある地域の方々に、町の歴史や現在について知らせることができた。

3)成功したこととその要因：

- ・写真家やデザイナー、学芸員、地域づくりに従事するメンバーなどが、自身の業務上のスキルを出し合って活動したことで、目標通りの成果をあげることができた。
- ・災害に対して関心の高い時期に、スピード感をもって事業を実施することができた。

4)失敗したこととその要因：

・ネガ水損の連絡を聞いた後、会場や人員を確保し、自分たちのできる範囲でスピード感を持って作業にあたったが、乾かす作業を早めに始めるなどすれば、もう少しレスキューできたネガがあったかもしれない。今回、作業の段取りが一通り身についたため、その反省を次回に生かしたい。

令和2年7月豪雨災害 REBORNプロジェクト 収支決算

<収入>

	項目	金額	内訳
収入	助成金	780,000	熊本放送文化振興財団、日本財団
	合計		

<支出>

	項目	金額	内訳
支出	消耗什器備品	179,851	スキャナ本体、水損ネガデジタルデータ保存用HDD×3、フィルムクリーナー、写真用紙（インクジェット）、インクカートリッジ×2
	印刷製本費	568,666	印刷代、翻訳費、デザイン・試し印刷費、コピー費
	事業管理費	31,483	日本財団分事業管理費
	合計	780,0000	

熊本豪雨

昨年7月の豪雨で水損した八代市坂本町の古いネガフィルムから画像をよみがえらせた写真集「REBORN(リボーン)」が刊行された。売上金は経費を除いて同町の復興に投立てられる。プロジェクトの中心となった水俣市の写真家豊田有希さん(33)は「川ととも」に生きて人々の暮らしをもに生きて人々の暮らしをも、土地の記憶として共有したい」と力を込める。

地元のアマチュアカメラマンらが昭和20年代から平成初期の坂本町の暮らしや風景を写したネガフィルムで、同町のラフティング会社「リボーン」を運営するリバーガイド「豊田有希さん(33)」が買い受けて保管していた。

球磨川との記憶“再生”

昭和～平成の坂本町 水損ネガから写真集



国道219号から坂本町中心部へと続く坂本橋。昨年の7月豪雨で流出した(撮影・東儀一郎さん、REBORNプロジェクト提供、撮影日は不明)

しかし、豪雨で大半が水損。豊田さんが約200本分を預かりSNSで協力を呼びかけると、県内の写真仲間や学芸員ら



写真集「REBORN」。昨年の7月豪雨で水損した八代市坂本町に残る古いフィルムを再プリントして発行した

約20人が支援に駆け付け、津奈木町つなぎ美術館と熊本市現代美術館などでクリーニングや保存、デジタル化を進めてきた。

延べ2167カットがデータとして残り、50カット余りを収録。木材を川に流して運ぶ筏渡し、若狭ダム建設現場に集う男たち、渡し船で通勤するスーラの女性…。近代化や水害を経験しながらも、地に足定めて生きる人々の姿が映し出されている。

「今はなご風に吹かされて、川を渡り、坂本町の記憶を再生したい」と願った。時勢を駆け抜けていくなかで、懐かしい風景の記憶を

坂本町住民への写真集の無料配布や地元での写真展も考えているという。発行にはふるさと助成を受けました。

写真集は3千円で、熊本市現代美術館で販売。写真の一部は再プリントされ、同館で開催中の豊田さんの個展「おぼろの川」にも展示されている。

問い合わせは豊田さん(096)2000000(0000)2004。メールは: rnbuki@toyoda.096@gmail.com (発行所)

令和2年7月 REBORNプロジェクト 展示風景

※あめつちのことづて 豊田有希写真展内の一部を使用
2021年1月29日～4月4日熊本市立現代美術館・ギャラリーⅢ



REBORNプロジェクト展示全体画像



水損ネガの実物展示
水損ネガ内の過去の坂本村の水害の様子



活動報告全体コーナー